

継続的専門能力開発(CPD)認定登録書(参加学習型)

プログラム番号	
教育形態	セミナー
プログラム名	JISQ15001 セミナー 個人情報保護管理者・個人情報保護監査責任者養成コース～力量認定に向けて～
主催者(団体)	一般財団法人 日本規格協会
協賛・後援	
開催日程	日本規格協会ホームページでご確認ください。
総時間	6 時間
開催場所	日本規格協会ホームページでご確認ください。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織において個人情報保護管理者・監査責任者に必要とされる力量を身に付けたい方</li> <li>・個人情報保護に関する最新情報を知りたい方</li> <li>・組織内部において、個人情報保護を推進する立場(事務局など)にある方</li> </ul>
定員	日本規格協会ホームページでご確認ください。
題目	
プログラム(次第)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■個人情報保護とは何か <ul style="list-style-type: none"> <li>・トピックスに照らして考える</li> <li>・大炎上した実事例(1)</li> <li>・“個人情報保護法”に対する誤解</li> <li>・個人情報保護法絶対主義からの脱却</li> <li>・ステークホルダからの信頼のために</li> </ul> </li> <li>■テクノロジーのもたらす革新、複雑さ、不確実さ <ul style="list-style-type: none"> <li>・トピックスに照らして考える</li> <li>・大炎上した実事例(2)</li> <li>・不確実さを読まなければならない</li> <li>・データの管理からデータ利活用の制限へ</li> <li>・個人情報を使って”今“何が行われているのか</li> </ul> </li> <li>■始まった個人情報の利活用時代 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本当の個人情報保護法の歴史を知る</li> <li>・データ経済社会の「個人情報」とは何か</li> <li>・ガラパゴス状態な日本</li> <li>・個人情報保護の国際標準化</li> <li>・Data Free Flow with Trust</li> <li>・周回遅れでデジタル経済を追いかける</li> </ul> </li> <li>■安全・安心な個人データの利活用を目指して <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者提供、共同利用、委託の違い</li> <li>・情報銀行</li> <li>・匿名加工情報制度、仮名加工情報制度</li> <li>・秘密計算</li> </ul> </li> <li>■2020 改正 新個人情報保護法の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の権利の在り方(注意するケースと対策) <ul style="list-style-type: none"> <li>－利用停止・消去等の請求権</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>－保有個人データの開示方法</li> <li>－第三者提供記録の開示</li> <li>－短期保存データの開示等対象化</li> <li>－オプトアウト規定の強化</li> <li>・事業者の守るべき責務の在り方(注意するケースと対策) <ul style="list-style-type: none"> <li>－漏えい等報告・本人通知の義務化</li> <li>－不適正な方法による利用の禁止</li> </ul> </li> <li>・データ利活用に関する施策の在り方(注意するケースと対策) <ul style="list-style-type: none"> <li>－仮名加工情報の創設</li> <li>－提供先において個人データとなる情報の取扱い</li> </ul> </li> <li>・法の域外適用、越境移転の在り方(注意するケースと対策) <ul style="list-style-type: none"> <li>－越境移転に係る情報提供の充実</li> </ul> </li> <li>■事業者としての舵取り <ul style="list-style-type: none"> <li>・GDPR から学ぼう(比較衡量の考え方)</li> <li>・マネジメントシステムを使う</li> <li>・privacy by design</li> <li>・委託先監督(クラウド利用)</li> <li>・安全管理措置の見直し</li> </ul> </li> <li>■理解度確認試験</li> </ul>
内容	<p>本コースは、JISQ15001 で要求される個人情報保護管理者、個人情報保護監査責任者および事務局担当者に必要とされる力量を身に付けようとする方を対象としたコースです。</p> <p>受講後の理解度確認試験で基準を満たすと修了証書が発行されますので、各組織様が「自組織で設定する個人情報保護管理者・個人情報保護監査責任者としての力量」を証明する際にお役立ていただけます。</p> <p>また本コースは、繰り返し定期的にご受講いただくことを想定し、最新トピックをもとに常に内容をアップデートしております。個人情報保護をとりまく環境は常に変化しておりますので、ぜひ定期的にご受講いただき、自身の個人情報保護管理者・個人情報保護監査責任者としての力量をブラッシュアップされることをお勧めします。</p> <p>2020年改正 新個人情報保護法や JISQ15001 はもちろん、GDPR(EU 一般データ保護規則)への対応など、経営や社会に影響を与える国内外の情報保護動向を正しく理解しましょう。</p>
プログラムの目標	自組織における個人情報保護管理者および個人情報保護監査責任者としての力量を身に付けること。
CPD点数	20 点
料金(税込)	一般: ¥22,000 維持会員: ¥19,800 ※参加費は、テキスト・資料代を含んだ金額です。
備考(問い合わせ先)	日本規格協会グループ 研修ユニット TEL: 050-1742-6287
詳細URL	<a href="https://webdesk.jsa.or.jp/seminar/W12M1010/index/006/003/001">https://webdesk.jsa.or.jp/seminar/W12M1010/index/006/003/001</a>